

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコルの提出が必須です
プロトコルがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	PEM+CDDP分割
診療科名	腫瘍内科
診療科責任者名	大山 優
適応がん種	悪性中皮腫
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	PM-1
登録日・更新日	登録日2008年2月21日・更新日2023年8月22日
削除日	
出典	JCO 2003 ; 15 : 2636 一部改
入力者	安室

投与順に記入(抗がん剤のみ)

	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
No.1	ペムトレキセドナトリウムヘミペンタ水和物 (ペムトレキセド点滴静注液) 生理食塩液	100mg、500mg、800mg 100mL	500 mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	10分	Day1
No.2	シスプラチン (シスプラチン注) 生理食塩液	10mg、50mg 500mL	30-40mg/m ²	<input type="checkbox"/> IV <input checked="" type="checkbox"/> DIV <input checked="" type="checkbox"/> CVポート <input type="checkbox"/> 側管 <input type="checkbox"/> その他()	2時間	Day1、8

1コースの期間	21日
投与間隔の短縮規定	<input type="checkbox"/> 短縮可能(日) ・ <input checked="" type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	以下のいずれかに該当する場合75%に減量 ・最低ANC<500/mm ³ 及び最低血小板数≥50,000/mm ³ ・粘膜炎を除くグレード3又は4の毒性 ・入院を要する下痢(グレードは問わない)又はグレード3若しくは4の下痢 以下のいずれかに該当する場合50%に減量 ・最低ANCに関わらず最低血小板数≤50,000/mm ³ ・グレード3又は4の粘膜炎 (アリムタ注射用添付文書より抜粋)
前投薬	ペムトレキセド初回投与の7日以上前から葉酸として1日1回0.5mg(パンビタン1g)を連日経口投与する (ペムトレキセドの投与を中止又は終了する場合には、最終投与日から22日目まで投与する) ペムトレキセド初回投与の7日前にビタミンB12として1回1mg(メコバラミン注2A)を筋肉内投与する (ペムトレキセド投与期間中及び投与中止後22日目まで9週ごと(3コースごと)に1回投与する)
その他の注意事項	シスプラチン投与前後に計3Lの水分負荷を行う。 原法ではシスプラチンはDay1のみの投与であるが、高齢者などの腎機能低下患者にはDay1、8に分割し毒性を軽減して投与する。

記入者	大山
確認者	安室